

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	6	事例No	3	依頼者	(株)三菱 UFJ 銀行	実施場所	(株)三菱 UFJ 銀行名古屋ビル1階通路スペース
実施対象	地域の小学1年生～6年生（小学生16名、保護者15名）						
実施日時	令和6年8月18日（日） 10時00分～12時00分						
テーマ	地域の子どもたちが「環境」に興味・関心を抱くきっかけをつくる						

●依頼内容

モノづくりを代表する愛知県において、子どもたちが資源循環の必要性を考え、よりよい環境づくりにむけて興味・関心を抱くきっかけとなるようなコンテンツを実施するための講師、企画内容（講義＋ワークショップ）を提案してほしい。

●講師：岩月 輝希 氏（（一社）環境創造研究センター）

岩月輝希氏は、温泉や自然界の水循環、地下建造物の環境影響などを専門とし、大学生や一般人向けにエネルギー問題や自然環境との関わりなどの講義やサイエンスカフェを行ってきた実績がある。

●授業の内容

環境学習	自己紹介の後、パワーポイントを使って授業が行われ、地球温暖化の原因や仕組み、将来の気候、温暖化による農業や漁業への影響について学んだ。また、地球温暖化を止めるためには二酸化炭素の排出量を減らすことが大切であり、節電や節水、再生エネの電気に替える、宅配の荷物を1回で受け取る、食品ロスを出さない、生ごみの水を絞ってごみに出すなど、私たちがすぐにでもできる温暖化対策はたくさんあるので、できることから始めようと呼びかけがされた。	50分
休憩		10分
ワークショップ	はじめに、「くり返し使える！みつろうエコラップ」の特徴や作り方と、「太陽の力で動く！ソーラー扇風機」の仕組みや作り方について、簡単な説明が行われ、その後、子どもたちは全員が2つの工作に取り組んだ。「みつろうエコラップ」は、水洗いすることで何度も繰り返し使えるラップで、子どもたちは好きな布の上に粒状のみつろうを散らして置き、上からアイロンをかけた後、冷まして完成させた。「ソーラー扇風機」は、キットの説明書に従って組み立てた後、ソーラーパネルに太陽の光を当てて扇風機がよく回るソーラーパネルの向きを確認した。	60分

●授業の様子

講義では、子どもたちは保護者とともに席につき、真剣に話を聞いていた。ワークショップの「ソーラー扇風機」作りでは、組み立てるのが難しい箇所もあり、保護者に手伝ってもらいながら完成させていた。扇風機を組み立てた後、屋外に出て扇風機を回そうとしている子どももいたが、雲がありなかなか上手く回らないこともあった。「みつろうエコラップ」作りでは、各自がお気に入りの布を選んで、火傷をしないよう気を付けながらアイロンをかけていた。子どもたちからは、家に帰ったら野菜を包むのに使いたいという感想が聞かれた。

地球温暖化の仕組みや原因、影響について学んだ。



「みつろうエコラップ」と「ソーラー扇風機」作りに取り組んだ。

